

動物園は社会の万華鏡 — 細部からみる中国の動物園 —



客員研究員（長崎県海外技術研修員） 呉 桐
【上海市政府より派遣（所属：上海動物園 科普宣伝課）】

2013年9月から上海動物園の科普宣伝課（科学普及および宣伝の担当）に配属され、活動・イベントを企画するような仕事をしています。昨年9月からは、長崎県海外技術研修員として上海から派遣され、長崎経済研究所で6ヵ月間、客員研究員として勤務しています。本稿では、中国動物園の現状の断片を紹介したいと思います。

はじめに

一般的には、1794年に開園したパリ動物園は最も早く公開された動物園と思われる。最初の動物園は動物を展示するために開設した施設であるが、動物園に対する人々の意識は時代とともに変化してきていた。近代の動物園は単なる展示場ではなく、教育・研究施設としての役割を果たすべきであると考えられている。子供のための施設と認識されてきた動物園も、現在では、種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションという四つの目的の達成を目指すことが世界の現代動物園の共通認識となっている。

では、本稿で触れる日本と中国の六つの動物園を簡潔に紹介する。

長崎バイオパークは、西海市にある動物園。いたるところで動物にさわったり、園内で販売しているエサをやったりすることができ、近くでふれあえる長崎で一番人気の動物園である。

長崎ペンギン水族館は、長崎市宿町にある市立の水族館。日本最大のペンギン飼育・展示している水族館である。

九十九島水族館は、佐世保市にある水族館、改め「海きらら」。西海パールシーリゾートは「西海国立公園 九十九島水族館 海きらら」をメインに、遊覧船ターミナル、飲食店、土産物店が周囲に連なる。水中に太陽光が燦々と降り注ぐ「九十九島大水槽」、長崎県で初のイルカパフォー

マンスなど、近年の流行がたっぷりつまっている。

旭山動物園は、北海道旭川市にある日本最北の動物園。近年は、動物の自然な生態が見られる行動展示を実施して、一躍有名になり、日本国内だけではなく海外からも数多くの観光客が訪れている。

上海動物園は、中国第二の動物園。敷地面積が74.3万平方メートル、飼育設備面積は47,237平方メートルある。飼育されている動物は455種類・4,500頭以上で、ジャイアントパンダや揚子江ワニ、華南トラといった中国原産の動物のほか、世界各国の動物が展示されている。

長隆野生動物世界は、中国南部の広州にある私営動物園。サファリパーク付きでアジア最大級を誇っている。長隆リゾートは、広州の番禺にできた、サファリ式長隆野生動物世界、ウォーターランド、遊園地、サーカス、ワニ園そしてホテル2軒からなる一大リゾート施設である。長隆リゾートは2014年の中国人気テーマパークランキングの一位である。

中国動物園協会・日本動物園水族館協会の違い

子供のためのレクリエーション施設からの脱却というテーマは、今に始まったものではない。1985年、国際的な視野に立って、自然や希少動物を保護するために、国内の213の動物園の集まった中国動物園協会が成立した。中国では、動物は陸生動物と水生動物と二種類に分けて管理されている。法律も別々で、＜野生動物保護法＞と＜水生野生動物保護実施条例＞によって管理されているのである。そのために、動物園と異なり、水族館は中国野生動物保護協会水生野生動物保護分会に配属される。中国動物園協会は中華人民共和国住宅都市農村建設部（略称：住建部）所管。

現在は、中国全体の視野に立って、中国動物園協会は個々の動物園ではできないことを協力して行っている。もとより中国国内の全ての動物園の代表者が加盟しているわけではないが、2013年の不完全な数値によると、現在の中国大陸地域には動物園389、水族館63の計452の施設がある。1990年代から今までになくなった動物園は104、水族館は26、計130。他に、動物園41、水族館4の計45が状況不明。つまり、20年間で約四分の一の動物園が各種の原因で消失した。

中国動物園協会は以下の五つの執行機関により構成されている。ジャイアントパンダ繁殖技術委員会、管理業務委員会、科学技術業務委員会、科学普及教育編集委員会、ジャイアントパンダ及び絶滅危惧種保護基金管理委員会である。

一方、日本動物園水族館協会も教育活動の充実や動物福祉への邁進、希少動物の保護繁殖などを目的に掲げている。2014年5月15日現在の正会員数は、（日本国内の）動物園87、水族館64の計151である。加盟園館数は近年脱退が新規加盟を上回り、漸減が続いている。動物園または水

族館が団体として正会員となるのではなく、動物園または水族館の代表者が個人の資格で正会員となる。日本動物園水族館協会も日本国内の全ての動物園・水族館の代表者が加盟しているわけでもなく、半数以下となっている（出典：ウィキペディア）。日本は、人口あたりの水族館数が世界一と言われており、水族館大国である。

教育・環境教育をもっと大事に

種の保存については、中国国内でもホームページを作り、確実に進めている。しかし、一方の教育については、まだまだ多くの課題が残っている。

1999年、「全国科学教育普及基地」は中国科学技術協会に創立された。2012年までに、1,048の全国科学教育普及基地が認定されており、学校教育などにも活用されている。その中に、自然科学系博物館427がある（科学館、動物園、植物園、水族館などが含まれている）。その後、県レベルの科学教育普及基地も絶え間なく続いて創立された。上海を例にとると、2012年までに、254の上海科学教育普及基地が認定された。それらの認定された基地は定期的に審査を受け、科学教育普及の上で不合格の場合は基地の資格認定が取り消されることもある。また、各基地も色んな交流を通して、お互いに協力して教育普及活動を行っている。

教育を実施する際には、人目を引くイベントは必要だろう。上海動物園では、毎年春節、旧暦1月1日-15日（元宵節）はその年の干支について盛大な祝賀イベントを行う。他、毎年夏、定期的に行われる親子サマーキャンプも上海特有の野生動物「タヌキ」をめぐって「夜間でタヌキと蛍を探せ」のイベントも大人気である（タヌキは飼育されるわけではなく、上海動物園で生息している）。上海動物園の四種の神器と呼ばれる「ジャイアントパンダ、トラ、ライオン、象」が揃っても、やはり地元の動物の展示は更に現地のエコ現状を理解させることに役に立つだろう。

長崎バイオパークで有名なキャラクターはカピバラ。毎年大勢の人たちが「冬季限定のカピバラの露天風呂」を見に来る。カピバラがこぞってお湯につかり、満足げなお顔をしている様子はいつも話題になるだろう。

イベント以外に、動物の解説版もかなり重要である。昔の動物園や水族館の多くは生物学系出身の人が展示係になっていた。更に子供のために理科教育を実施しようと生物学の解説がとて多かつたものだ。しかし、百科事典や図鑑を見ただけではなかなか身につかないだろう。解説をじっくり読む人は殆どいないと気づいた筆者の同僚達は何をしようかと考え、もし解説をお客さんに読んでもらいたいのであれば、皆が知りたいことを載せたらいいと、内容をもっと工夫し、新しい解説版を作ったところ、確かに効果が強くなった。海きらら水族館にある魚たちのライン会話形式の解説版も斬新で、魚が言いたい話をよく表している。

マスコミ・ネット世論の影響力

21世紀初頭に入り、インターネット社会の急速な発展に伴い、2014年上半期、中国のネットユーザーが6.32億人を超え、ネットで物申す「インターネット世論」の影響力が増している。近年では、各国の企業や政府機関など多くの分野においてSNSの利用が進んでいる。首相官邸においてもフェイスブック、ツイッターなどのSNSを利用した情報発信を行っている。また、社内でのコミュニケーションの活性化、情報の地域間格差の解消、SOX法対策のために、多くの企業が社内SNSを導入している。以下の五つの日中動物園のSNS利用状況を見てみよう。

各動物園におけるSNS利用状況

| 公式サイト | ツイッター | | フェイスブック | | 新浪微博（ウェイボー・中国版ツイッター） | |
|-----------|----------|---------|---------|-----------|----------------------|---------|
| | フォロワー（人） | ツイート（件） | いいね（件） | チェックイン（件） | フォロワー（人） | ツイート（件） |
| 長崎バイオパーク | 10,697 | 3,236 | 5,412 | 6,499 | — | — |
| 長崎ペンギン水族館 | — | — | 1,518 | 1,293 | — | — |
| 海きらら水族館 | — | — | 604 | 8,981 | — | — |
| 旭山動物園 | 12,730 | 871 | 7,244 | 62,312 | — | — |
| 上海動物園 | — | — | — | — | 15,485 | 1,569 |
| 長隆野生動物世界 | — | — | — | — | 176,610 | 12,307 |

資料：筆者まとめ

この表における数値は2015年2月16日に検索した結果である。新浪微博とは、中国で最も人気のあるウェブサイトの一つである。2012年12月末、新浪は登録ユーザー数が5億人を超えたと発表した。

2014年、中国の人気リアルバラエティー番組「パパ、どこ行くの？」が再び映画化されることになった。映画版のロケ地として、長隆野生動物世界は急速に人気を伸ばした。その映画の役者である人気タレントとそのこどもも長隆野生動物世界のキャラクターを演じている。今の長隆野生動物世界の公式ウェブサイトでも人気タレントのポスターがよく見られる。

個人的に、長隆野生動物世界は現在、中国で唯一のPRがよく出来ている動物園であると思う。2015年1月24日から、「パパ、どこ行くの？」のような、人気タレントが動物を取り扱う教養バラエティー番組「見事な友達」（中国語名：奇妙的朋友）も放送が始まり、ロケ地としての長隆野生動物世界は今年も人気急上昇の見込みである。本稿の完成まで、「見事な友達」の視聴率は今クール全国一位。番組についてのコメントは賛否両論も多数見られ、反対意見としては「動物園の仕事を簡単化されて、動物飼育員が馬鹿にされている気がする」と思い、一方、国民的スターも多く影響力も大きいので、とにかく野生動物の保護の宣伝としては有意義だと思い、賛成

する人も結構いる。

では、世界最大の検索エンジン・グーグルで検索してみよう。そこで世界からどう見ているのかが分かってくる。悪事千里を走るというわけではあるまいが、どうやら酷評のほうが多いような気がする。

まず、英語で「Chinese zoo」と入力して検索すれば、結果は右図の通り。

2015年1月9日に検索した結果では、10のヒントが出てくる。その中で、1位は「中国の十二支」、2位は「中国の動物園」、その以外に、3、4、6、7、9、10位は全てあるニュース「中国の動物園が大型犬をライオンやオオカミとして展示」関連の結果である。2013年8月、中国中部・河南省のラク河市にある動物園で、「アフリカライオン」として展示されていた動物が実は毛の長いイヌだったことが、鳴き声で発覚してしまった。「代役」を務めていたのは、体が大きい長毛犬種のチベタン・マスティフだった。この報道によって中国の交流サイトでは、動物園の対応を非難する声が相次いだ。殆ど悪い評判だった。

では、日本語で「中国の動物園」と検索してみよう。2015年1月9日に検索した結果では、10のヒントの中で7つには同じ「大型犬をライオンやオオカミとして展示」

グーグルで「Chinese Zoo」・「中国の動物園」を検索



資料：グーグル検索画面より

というニュース。他、3位は日本でいつでも大人気のパンダ。8と10位は、2013年4月に「上海動物園でゴリラの赤ちゃんが名前を公募」についての話だった。2012年5月、上海動物園でゴリラの赤ちゃんが誕生した。1年後、その赤ちゃんが1才を迎えるにあたり、名前を公募したところ、市民からの投票で、日本人気漫画『銀魂』の作者の名前空知英秋さんの名前がブッチギリで1位になった。しかし、投票途中で「ネット投票で不正が見つかった」として投票を中止することを発表したということだった(不正は確かにあった)。当時筆者はまだ勤務していなかったが、同僚の話によると、日中関係が冷え込んでいる状態になったので、トラブルを引き起こさないた

め、1位の「空知英秋」という候補を断念した。最終採用を披露したら、悪い評判がすぐたてられた。上海動物園は中国を代表する動物園として、世間から注目され、マスコミにも取り上げられる。この事件は今までも反面教材だとして中国圏の動物園社員の中で伝えられている。

批判が高まる動物ショー

2010年10月、中国住建部が公布した新しい条例によると、中国全国の動物園や、水族館などはこれからの動物ショーが一切禁止されるということだ。原因は主に2つある。1つは、ある動物園にとっては、動物ショーは単なる娯楽を提供することによって、動物園を訪れる人を楽しませ、動物園関係者は利益を得るものだ。弱い立場にある動物を犠牲にしたそんな非人道的娯楽は現代社会に必要なものではない。もう1つは、動物ショーのトレーニングと動物虐待の境界の判断が微妙な場合があると言われているのだ。だが、住建部管轄圏外の私営動物園の動物ショーはまだ禁止されていないのだ。もちろん、動物ショー禁止を反対する人もかなりいる。ある専門家によると、動物ショーはとても大事な文化である。トレーニングも難しい仕事である。トレーニングができ上がる前に、飼育員にとって動物の生理学的機能や、知能などたくさんの知識が不可欠である。粗雑に動物ショーを禁止するより、動物福祉の立場から、飼育動物の幸福な暮らしを実現するための具体的な方策を頑張って立てたほうがいいのだろうか。筆者は海きらら水族館のイルカショーを見たことがある。イルカが間近に見られるし、イルカの高い知能や運動能力を知ることでもでき、科学的な啓蒙を伴う場合もある、勉強になり楽しめるパフォーマンスだと思う。現在日本にはイルカショーのある水族館が30以上もある、一方、日本国内もイルカショーを廃止すべきだと主張している声が高まりつつある。動物福祉の国際原則を厳守してないと言われるからだ。動物ショーは廃止されたら残念だと思い、これからどうやって動物ショーを改善すればいいのかというのは私たちが考えるべきことである。

中国ならではの“公園機能”としての悩み

近年、中国で大流行している広場舞（広場ダンス）は年配の女性たちを中心に、公園や広場で、創作ダンスのようなダンスを踊ることである。中国の街中の大きな広場や公園などでは、朝や夜、ダンスを踊っている年配女性の団体が良く見られる。しかし、今は「広場舞」に対する批判が多くなり、騒音の原因として他人の日常生活に支障をきたすなどの声が出てきた。

上海動物園は、単なる動物園ではなく、公園機能として運営している。もともと、動物園は早朝鍛錬に適していないのだ。動物はほとんど朝と夕方が最も活発なのだ。だが、周りは大きい芝

上海動物園における早朝鍛錬入園者

上海動物園：動物と晨練者、誰放過誰？



資料：上海テレビニュース「上海動物園における動物と早朝鍛錬入園者の対立」（2014年10月20日付け）

生エリア、公園がないため、早朝鍛錬活動場所として園内の敷地を開放することになった。そのうえ70歳以上の高齢者は入園無料なので、早朝鍛錬の時間帯で平均して毎日の入園者が2,000-3,000人に達する。毎年入園者は増加し続け、2011年の春にシマウマが早朝鍛錬入園者に驚かされて亡くなった事故があったことから一時早朝入園の取り扱いをやめていた。また2006年にもライオンの檻に対して足を振り上げたところライオンに襲われてケガをするという事故も発生していた。

上海動物園によれば、現在動物園内の芝生エリアなどに限定し、市民に対して事前に入園カードを発行し、3月から10月は5時半から8時、11月から2月は5時半から9時の間、早朝の太極拳や広場舞その他の鍛錬の場として7,000名限定で園内を開放することになった。なお申請には身分証明書が必要になる。他に、入園者に13年3月1日から試行された「上海社会生活騒音汚染防止弁法」を守ってもらい、他人の正常な生活を妨害しないように、公園内で楽器、或いは音響設備を使って体操、娯楽などの活動をしないように呼びかけた。（注：上海動物園一日入園料大人40元、早朝鍛錬入園カード30元／月、定年者早朝鍛錬入園カード15元／月）

最後に

世界中の動物園でも4つの目標を目指して頑張っていると同時に、旭山動物園、長隆野生動物世界の成功例のような、動物園や水族館の集客力も地域の活性化に大きく貢献することがあるだろう。長崎ペンギン水族館も近年長崎市内の観光人気スポットとなっているようだ。一方、都市動物園は当地の動物飼育や、教育レベルも現れる一方、当地住民の素養もよく判明できる。入園者が増えてくるに従って、マナーも低下気味であることも確かである。また利用者に対しては動植物愛護の精神を自覚してもらい、動物に対してイタズラを行ったりしないよう規定で定められ、同時に植物の実や花そして土などを持ち帰らないよう安全面や道德面からルールを守るよう求められている。4つの課題の中でまだ改善すべきところがたくさん残っている。

本稿では上海動物園と日本の動物園で経験したこと、感じたことを中心にいろいろ述べたが、テーマの都合で割愛したこともたくさんある。興味があれば、お気軽にご連絡ください。